

# ここがポイント

## ポイント1

- ・指導者は、あらかじめ探検場所の樹木や植物等を下調べし、ワークシート（ビンゴカード）を作成しておく必要があります。

## ポイント2

- ・ワークシートには子どもたちが発見できそうな自然を予想して書くことが、ポイントとなります。  
なお、あらかじめシートに発見できそうな自然の言葉を記入しておく場合には、例えば、「チューリップ」というような名詞ではなく、「かたい芽（め）のついている木」というような様子を表す言葉にすることも工夫の一つです。

## 学習指導要領(内容)における位置づけ

### 生活

- (5) 身近な自然を観察したり、季節や地域の行事にかかわる活動を行ったりなどして、四季の変化や季節によって生活の様子が変わることに関心、自分たちの生活を工夫したり楽しくしたりできるようにする。

- (6) 身近な自然を利用したり、身近にある物を使ったりなどして、遊びや遊ばしに使う物を工夫してつくり、その面白さや自然の不思議さに関心、みんなで遊びを楽しむことができるようにする。



# 色あわせ

事例元：森で遊ぼう、森で学ぼう！体験活動ファイル

作成者：青森県農林水産部林政課企画グループ

住所：〒038-8570 青森市長島1丁目1-1

電話番号：017-734-9507、FAX番号：017-734-8145

アドレス：<http://www.pref.aomori.lg.jp/soshiki/nourin/rinsei/>

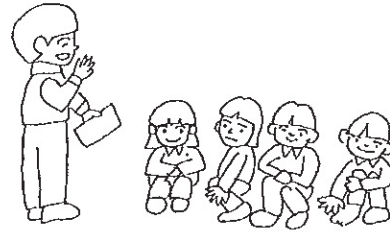
- ・生活科の活動として実践しやすいです。
- ・植物や実の色に注目しているのがおもしろく、微かな色の違いに気づかせ自然の美しさを感じ取らせたいです。
- ・図工科で全学年でも取り組めます。

カテゴリー	森にふれる
キーワード	植物
プログラム名	色あわせ
ねらい	森の中で自分に配布されたカードの色と同じ色をした植物を探し出すことで、自然界は色にあふれていることに気づくようになる
実施時期	春から秋
実施場所	植物が豊富な森、公園、学校（校庭）など
活動可能学年	小学校低学年から
必要な専門家・人数	特に専門的な知識を必要としない
所要時間	５０分
実施上の注意事項	なし
指導者準備品	カラーカード（印刷屋さんが使用するカラー見本をカードの大きさにして、ラミネートして作る）
参考文献	森の中の自然体験プログラム集P 26 / 社団法人国土緑化推進機構

## ○ 進め方

### 導入（10分）

- ①森の中でみられる色を思い出してあげてもらう。
- ②カラーカードを参加者に一枚ずつ配布しやり方を説明する。



### 体験（30分）

- ③自然観察会をしながら、カラーカードと同じ色の植物を探してもらおう。



- ④同じ色の植物をみつけたら、自然にダメージを与えない程度に採取してもらおう。



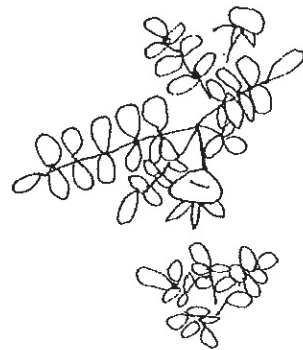
### ふりかえり（10分）

- ⑤採取した植物をみんなで見せ合い、森にある色の種類の多さを理解する。



### ○指導のポイント

- ・同じ赤でもいろいろな赤があることに気づかせる。
- ・一枚の葉も、一色ではないことを気づかせる（裏と表など）。



# ここがポイント

## ポイント1

- ・採取した植物は時間とともに色が変わるため、最初にカラーカードのと採取した植物を並べて写真に撮り、そのあとみんなで見比べてみるとおもしろいです。また、自然の色を絵の具を混ぜて自分で作ってみるのも楽しいです。

## ポイント2

- ・色の変化が乏しいと思われる冬でも枯れ葉の色の違いなどおもしろい発見ができます。

## 学習指導要領(内容)における位置づけ

### 生活

- (5) 身近な自然を観察したり、季節や地域の行事にかかわる活動を行ったりなどして、四季の変化や季節によって生活の様子が変わることに関心、自分たちの生活を工夫したり楽しくしたりできるようにする。
- (6) 身近な自然を利用したり、身近にある物を使ったりなどして、遊びや遊ばしに使う物を工夫してつくり、その面白さや自然の不思議さに関心、みんなで遊びを楽しむことができるようにする。

### 図工

#### 第1学年及び第2学年

#### A表現B鑑賞〔共通事項〕

- (1) 「A表現」及び「B鑑賞」の指導を通して、次の事項を指導する。

- ア 自分の感覚や活動を通して、形や色などをとらえること。
- イ 形や色などを基に、自分のイメージをもつこと。

# こすりだし図鑑

事例元：センス・オブ・フォレスト

作成者：高知県森林局木の文化推進室

現連絡先：高知県林業振興・環境部林業環境政策課

住所：〒780-8570 高知市丸ノ内1丁目7-52

電話番号：088-821-4586、FAX番号：088-821-4586

アドレス：<http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/030101/>

- ・こすりだしというコピーの技法を使って自然物を観察させているところがすばらしいです。
- ・生活科や図工科だけでなく、理科でも取り組みます。

自然物を下敷きにしてこすり出し、形を写しとる。

## こすりだし図鑑

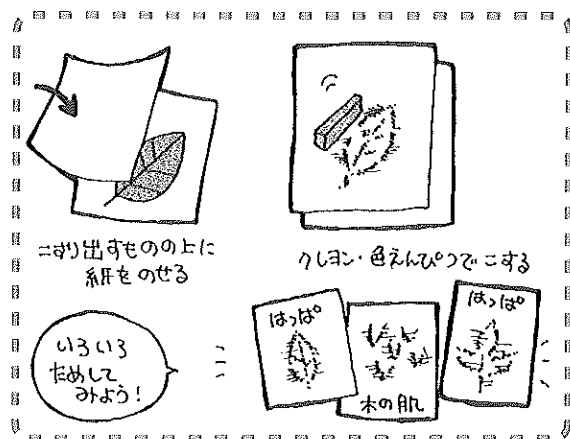
こすり出しをすることで容易に形が写しとれること、写しとれた形から、見た目では読みとりづらい特徴を知ることができます。こすり出したものはお土産になるし、絵が苦手な人も楽しめます。

### ねらい

こすり出しとして写しとることで、特徴を浮き彫りにしてとらえ、読みとることができることを知る。

### 達成目標

- ・こすり出すコツを説明できるようになる。
- ・どんなものがこすり出ししやすいか例をあげられる。
- ・こすり出すことで、新たに発見した自然の特徴を説明できる。



### 導入

こすり出しをした例を見せる。何をこすり出したものかを探してみる。「今日は自然の中にあるいろんな形をお土産にもって帰りましょう」と投げかける。

### 展開

こすり出したいものをさがしに行く。クレヨンや軟らかい色鉛筆を使ってこすり出してみる。皆の作品を壁にはり出すか、コピーをして束ね、皆で見られるようにする。

### まとめ

こすり出しの作品を見せあう。こすり出しをしてみたの感想や発見したこと、気づいたことを紹介しあう。

### 実施のポイント

葉っぱをこすり出す時には、葉の裏側をこすり出そう。こすり出す時に、葉が動かないようにするのがコツ。木に葉がついたままできれば、自然への優しさを意識できる。

### 評価の視点

上手にこすり出せたかどうかよりも、こすり出しをして発見したこと、気づいたことをコメントできるかに注目したい。また、いろんな葉にチャレンジしたことも評価したい。

### 発展・応用

本の木のいろんな場所をこすり出して、一枚の模造紙にはってみよう。一本の木のこすり出し図鑑になる。こすり出したものに目をつけたりして、デザインとして扱っても楽しい。こすり出しをする前に観察したこと。

### 参考文献

オリジナル／「山のふるさと村ビジターセンター

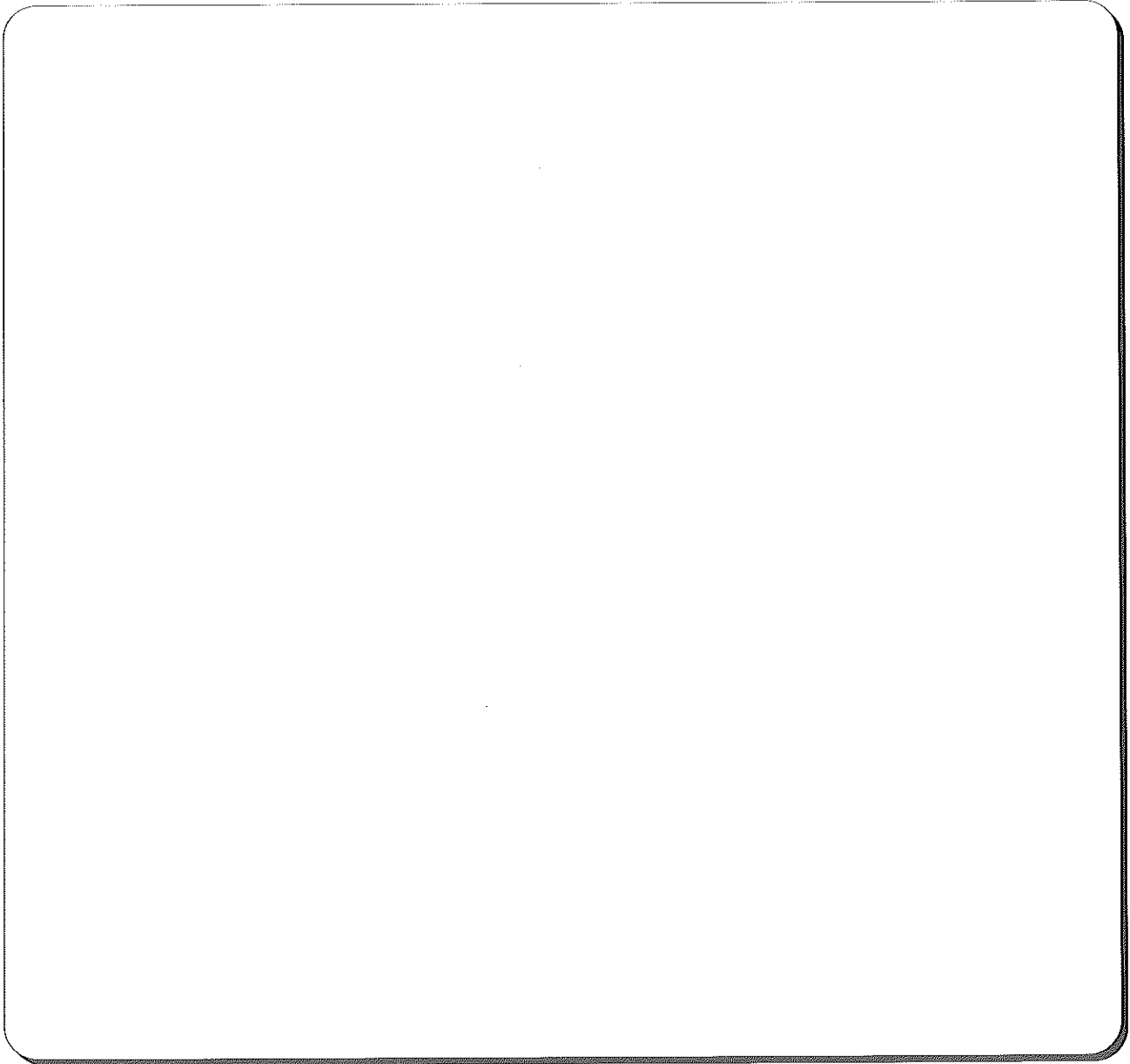
平成11年度環境教育活動報告書

◆所要時間	40分～1時間
◆人数	15人
◆関連科目	図画工作、理科
◆焦点を当てる能力	見る、えらぶ、こする 配置する、探す、さわる
◆準備するもの	薄い紙、色鉛筆、クレヨン クリップボード
◆安全のポイント	ウルシなどのかぶれる植物に 注意する。



# こすりだし図鑑

◆ そのままこすり出してみるか、半紙などの薄い紙にこすり出して貼り付けてみましょう。



◆ こすり出したもの

◆ こすり出しの前に観察したこと

.....

.....

.....

◆ こすり出しをして新たに発見したこと・気づいたこと

.....

.....

.....

年 月 日 氏名

# ここがポイント

## ポイント1

- ・生活科の題材なら、図鑑もおもしろそうですが、図工科なら、こすりだしたものを切り貼りし、コラージュ（切り紙絵）の作品にしてみるとおもしろいです。また、自然の色を絵の具を混ぜて自分で作ってみるのも楽しいです。

## ポイント2

- ・どのように葉がついていたかまで観察できるとよいです。自然の物をよく見る目を育てたいです。

## 学習指導要領(内容)における位置づけ

### 生活

- (5) 身近な自然を観察したり、季節や地域の行事にかかわる活動を行ったりなどして、四季の変化や季節によって生活の様子が変わることに関心し、自分たちの生活を工夫したり楽しくしたりできるようにする。

- (6) 身近な自然を利用したり、身近にある物を使ったりなどして、遊びや遊ばせに使う物を工夫してつくり、その面白さや自然の不思議さに関心し、みんなで遊ぶことができるようにする。

### 図工

#### 第1学年及び第2学年

##### A表現

- (1) 材料を基に造形遊びをする活動を通して、次の事項を指導する。

- ア 身近な自然物や人工の材料の形や色などを基に思い付いてつくること。
- イ 感覚や気持ちを生かしながら楽しくつくること。
- ウ 並べたり、つないだり、積んだりするなど体全体を働かせてつくること。

# ドングリみ～つけた！

事例元：森林環境教育指導資料集

作成者：奈良県教育委員会  
奈良県森林環境教育推進協議会  
住所：〒630-8501 奈良市登大路町30  
電話番号：0742-27-9854、FAX番号：0742-23-4312  
アドレス：<http://www.pref.nara.jp/gakko/>

- ・生活科の「秋のフェスティバル」などで取り組みます。
- ・ドングリを実際に育てたり、ドングリを餌にしている虫を育てたり、ドングリごま大会をしたりと活動がドングリで1つにつながっているところが興味深いです。

# ドングリみ～つけた！

秋の野山に出かけ、木の膚に触れたり、木の葉のじゅうたんに寝転がったりして十分に遊んだ後、ドングリ探しをします。見つけたドングリで遊んだり、持ち帰って観察したり、育てたりしながら、森林への関心をもたせることができます。

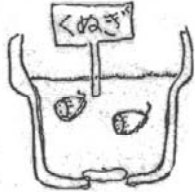
第1学年

生活科

## 指導のポイント

- ・ 野山へ行く途中に何がどこにあり、どんな生き物がいるのかを把握しておく必要がある。ウルシ類のかぶれやすい草木、スズメバチなどの危険な虫などの有無を確かめておきたい。
- ・ 授業設定の時期 10月、11月
- ・ 生活科の領域 ⑤季節の変化と生活にかかわる内容

活動の流れ (全体) 10時間

	活動の流れ	支援
	<p>1 野山へ出かける。 ○ドングリをさがそう。</p> <div data-bbox="560 1205 962 1323" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;">ドングリは、どんなところにあるのかな？</div> <div data-bbox="344 1346 1350 1921" style="border: 2px dashed gray; padding: 10px; margin: 10px auto;"><p>トトロの森ができるといいな。 落ちていたドングリを拾っていたら芽の出ているドングリを見付けることがある。</p><ul style="list-style-type: none"><li>・ その場の土と一緒に持ち帰って育ててみる。</li></ul><div data-bbox="1043 1536 1238 1727" style="text-align: center;"></div><ol style="list-style-type: none"><li>1 大きめの植木鉢を用意する。</li><li>2 深さ2～4cmの位置にドングリをねかせて土をかぶせる。</li><li>3 土が乾かないくらいに水をやって春を待つ。</li></ol><p>※3、4年たったら大きくなれる場所に植え替えてやりましょう。</p></div>	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 事前に調査し、ドングリを見付けるのに最適な場所や時期を確認してから行う。</li></ul>

○拾ったドングリであそびましょう。

どんなことができるかな？

- ・やじろべえ
- ・楽器
- ・こま
- ・けん玉

・現地でも簡単な製作ができるよう小道具を準備しておく。

### 優勝するのは、だれ？

- ・ドングリごま大会をしよう。
- 1 ※1 ドングリ穴開け道具を使い、ドングリごまを作る。

どうすれば、よく回る  
こまが、つくれるかな。

色を付けると  
きれいだね。

- 2 友達と競争しよう。

学級のみんなが参加できる  
ドングリごま大会をひらこう。



※子どもたちの意欲を高めるために、教師も参加する。

### いったい誰が食べているの？

ドングリを教室に置いていると、白い虫が出てくるのを子どもたちが見付ける。

- ・ドングリの中の虫は？

- 1 調べてみよう。
- 2 びんに土を入れて飼ってみよう。

この虫の名前は？

ドングリのかたい皮  
の中にどうして入っ  
たのだろう？

○拾ったドングリは、どんな木に育つのだろう。

どんな生き物が  
集まってくるかな？

大きくなったドングリの木  
の下でどんなことをして遊  
びたいですか？



※1 ドングリ穴あけ道具とは・・・かまぼこ板に釘を1本打ち抜いた物。  
ドングリに穴をあける時の配慮・・・釘で手をけがしないように、どんぐりを両手の指でしっかり持ってゆっくり押さえること。

# ここがポイント

## ポイント1

- ・ ドングリの採取に当たっては、あらかじめ採取可能な場所をリストアップするとともに、土地や立木の所有者に許可を得ておく必要があります。

## ポイント2

- ・ 3つの活動を子どもの意識の流れの中でうまくつないでいくことが大切です。

## 学習指導要領(内容)における位置づけ

### 生活

(5) 身近な自然を観察したり、季節や地域の行事にかかわる活動を行ったりなどして、四季の変化や季節によって生活の様子が変わることに関心、自分たちの生活を工夫したり楽しくしたりできるようにする。

(6) 身近な自然を利用したり、身近にある物を使ったりなどして、遊びや遊ばせに使う物を工夫してつくり、その面白さや自然の不思議さに関心、みんなで遊びを楽しむことができるようにする。

### 理科

#### 第3学年

##### B生命・地球

(2) 身近な自然の観察  
身の回りの生物の様子を調べ、生物とその周辺の環境との関係についての考えをもつことができるようにする。

#### 第4学年

##### B生命・地球

(2) 季節と生物  
身近な動物や植物を探したり育てたりして、季節ごとの動物の活動や植物の成長を調べ、それらの活動や成長と環境とのかわりについての考えをもつことができるようにする。

# 生き物たちの冬

事例元：子供をつれて森に行きたくなる本

作成者：北海道森林管理局石狩地域森林環境保全ふれあいセンター

住所：〒064-0809 札幌市中央区南9条23丁目1-10

電話番号：011-533-6741、FAX番号：011-533-6743

アドレス：[http://www.rinya.maff.go.jp/hokkaido/isikari\\_fc/](http://www.rinya.maff.go.jp/hokkaido/isikari_fc/)

- ・ 4年理科の「季節と生物」の単元で取り組みます。
- ・ 春を待つ生き物たちの姿に目を向けているのがおもしろく、雪国ならではの発想であり、自然を見つめる時にはなくてはならない視点です。

■生物の季節をめぐるサイクルを考える。

# 生き物たちの冬



春や夏に比べて冬に生き物の姿を見る機会はありません。だから、冬の生き物が何をしているのか考える機会も少ないことでしょう。

雪があるからと言って、冬に生き物たちがいなくなってしまう訳ではありません。冬の生き物たちが何をしているのか、なぜ私たちには見えないのかを想像します。

## プログラムの流れ

時間(目安)	内容	用意する物
0:00	<p>●冬の寒さ体験</p> <p>「まずは冬がどれくらい寒いのか、思い出そう」普段着(室内着)のまま3分間だけ外に出る。 「冬は寒い！」</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>寒くなった子ども達をすぐに温められる部屋や衣服</li> </ul>
0:10	<p>●冬の生き物さがし</p> <p>「冬は寒いよね。だから生き物が少ないように思うけど、本当に少なくなったのだろうか。探しに行ってみよう。」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>冬の鳥を探そう</li> <li>冬の動物を探そう</li> <li>冬の植物やきのこを探そう (グループごとに様々な生き物探しをしてみる)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>採集用のビニール袋、双眼鏡、図鑑など</li> </ul>
1:30	<p>●冬の生き物が何をしてるか考えよう。</p> <p>「やっぱり見つかった生き物は少なかった。じゃあ本当に冬は生き物が減っているのかな？見つからなかった理由を考えよう。」 →グループごとに発表</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>考えるヒントになりそうなもの。本など。図書室で行ってもよい。</li> </ul>
2:00	<p>●まとめのレクチャー</p> <p>「生き物は季節を通じて同じだけいるけど、それぞれ冬の過ごし方が違う。動物は食べ物を貯めたり、冬眠したりするし、鳥は暖かい南の方に向かって飛ぶ。植物は種子になったり、葉っぱを落としたり、地面の中で冬を過ごす。冬は辛い時期だけど生き物はちゃんと生きている。」</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>根拠となる書籍。図鑑など。</li> </ul>
2:20	終了	

## この活動のねらい

- ・生き物たちの冬の生活を想像する。
- ・冬の厳しさと生き物にとっての季節の動きを感じる。

## 達成目標

- ・生き物のライフサイクルの状況を学ぶ。
- ・様々な生き物の越冬行動と戦略を知る。

## 関連する教科と単元

学校のカリキュラムに対応させるための目安

指導要領：4年理科 目標(1) 内容(1)

単元名：「さむくなると」

## 活動に適した季節

厳冬、積雪期(12~2月)



## ■ストーリーのある活動のポイント■

本体2：冬に生き物たちが  
何をしているのか考えよう。

ほとんど目にすることができなかった生き物たちですが、いつもと変わらずに生活していることを伝え、どこでどんなふうに住んでいるのか考えてもらい、グループごとに発表してもらいます。その時に、自分だったら冬をどう過ごすのか、言ってもらってもよいでしょう。

導入：冬の寒さを体験しよう

北海道の冬は当たり前ですが、その寒さを思い切り感じる機会は、意外に少ないかもしれません。室内着で外に出たらどれだけ寒いのかを体験して、こんな過酷な環境で生き物たちが生活していることを想像させます。

起承  
転結

まとめ：生き物たちの  
冬の過ごし方

それぞれの生き物たちがそれぞれのやり方で厳しい冬を乗り切っていることをレクチャーします。  
どんな季節でも、生き物たちの営みがあることを知ってもらいます。

本体1：実際に  
探してみよう

外に出て実際に生き物たちを探してみよう。どんな生き物がどんな所で見つかるでしょうか。  
なるべく生き物の気持ちになってもらって探してみます。

### ちよっぴ ワンポイント 授業のための+α

冬は寒い、ということは誰でも知っていることですが、その寒さを直接体に刻み込んでみようというのが、この活動の導入部分です。たしかに、北海道において真冬にTシャツ1枚で外に出る、ということはまずないわけですから、これはありそうでなかった活動だと言うことができます。もちろん、風邪を引い

て体調を崩してしまったら元も子もありませんから、すぐに温かい服を着ることができる、あるいはすぐに温かい部屋に逃げ込むことができる、といった準備を万全に整えておきましょう。また、事前に子ども達が風邪を引いていないか、汗などをかいていないか、ということをチェックすることも重要です。



# ここがポイント

## ポイント1

・季節と森と生き物とのかかわりに目を向けさせることが大切です。

## ポイント2

・冬の校外学習のため、防寒対策を万全にするとともに、あらかじめ実施場所の環境・安全などを把握しておくことが必要です。

## 学習指導要領(内容)における位置づけ

### 生活

(5) 身近な自然を観察したり、季節や地域の行事にかかわる活動を行ったりなどして、四季の変化や季節によって生活の様子が変わることに関心を持ち、自分たちの生活を工夫したり楽しくしたりできるようにする。

### 理科

#### 第4学年

#### B生命・地球

(2) 季節と生物  
身近な動物や植物を探したり育てたりして、季節ごとの動物の活動や植物の成長を調べ、それらの活動や成長と環境とのかかわりについての考えをもつことができるようにする。

# あなたも森の芸術家

事例元：体験プログラム集

作成者：栃木県林務部

現連絡先：栃木県環境森林部環境森林政策課

住所：〒320-8501 宇都宮市塙田1丁目1-20

電話番号：028-623-3297、FAX番号：028-623-3259

アドレス：<http://www.pref.tochigi.lg.jp/>

- ・生活科と図工科との合科でも取り組めます。
- ・自然の中にある自然の素材を自分で集めてくるところがすばらしいです。

分類

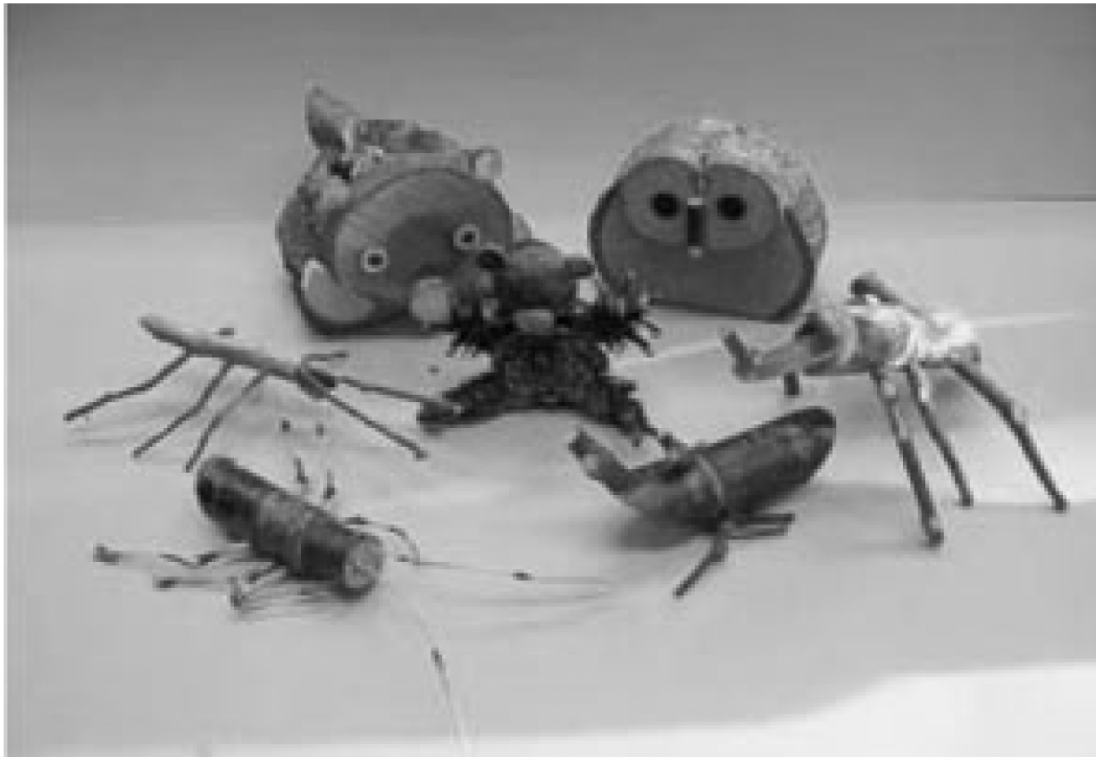
感じる

## あなたも森の芸術家

～森にある素材で貼り絵や動植物などの模型をつくります～

ねらい

森を歩いてみると、様々な色や形をした枯れ枝や葉、木の実が落ちているのに気づきます。これらを拾ってきて、貼り絵や動植物などの模型をつくります。ものづくりの楽しさや創造性を養い、自然に接する楽しさを体験します。



- 時間：60～90分  
場所：雑木林のあるところ  
公園、学校（校庭）、森林の遊歩道など  
人数：何人でも  
対象年齢：小学校低学年以上  
時期：秋（材料を採取しておけばいつでも）  
準備するもの：画用紙、板、はさみ、カッターナイフ、のり、速乾性ボンドなど

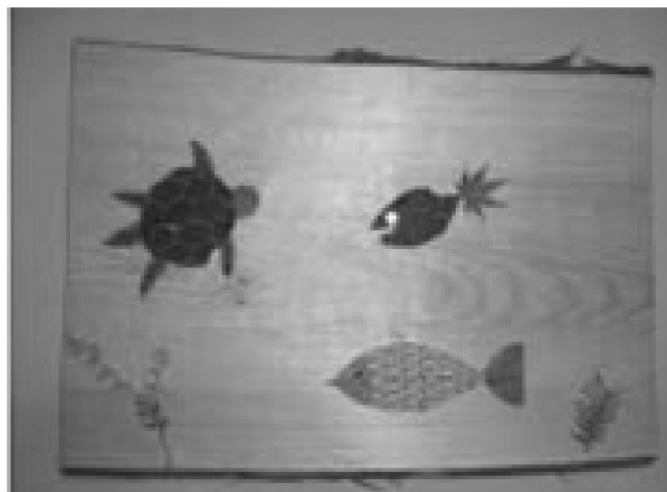


ポイント！

創作活動と共に材料を集めながらの自然観察も兼ねて行うことができます。

## プログラムの進め方

- 1 創作物（貼り絵や模型など）を参加者に見せ、動機付けをします。
- 2 どんなものを作るか考えてから、木の枝、落ち葉、木の実などの材料を集めます。  
（雑木林の中を歩きながら、自然観察を兼ねて、木の枝や落ち葉などを集めます。）
- 3 集めた材料（木の枝、落ち葉、木の実など）を使って、貼り絵や模型などいろいろなものを作り楽しめます。  
（作り方や注意事項などを説明した上で、制作に取りかかります。）



# ここがポイント

## ポイント1

- ・木と木の接着の方法としては、ホットボンド（グルーガン）など、熱で溶けて冷めると硬化する接着剤、キリやドリルなど、穴あけの道具を用意しておくことも工夫の一つです。

## ポイント2

- ・枝や葉、木の実などをよく観察させ、その特徴を活かすことが大切です。

## 学習指導要領(内容)における位置づけ

### 図工

#### 第1学年及び第2学年

#### A表現

(2) 感じたことや想像したことを絵や立体、工作に表す活動を通して、次の事項を指導する。

- ア 感じたことや想像したことから、表したいことを見つけて表すこと。
- イ 好きな色を選んだり、いろいろな形をつくって楽しんだりしながら表すこと。
- ウ 身近な材料や扱いやすい用具を手を働かせて使うとともに、表し方を考えて表すこと。

### 生活

(6) 身近な自然を利用したり、身近にある物を使ったりなどして、遊びや遊びに使う物を工夫してつくり、その面白さや自然の不思議さに気づき、みんなで遊びを楽しむことができるようにする。

# 葉っぱの名札

事例元：森林は自然の大先生

作成者：奈良県農林部林政課普及係

住所：〒603-8501 奈良市登大路町30

電話番号：0742-27-7470、FAX番号：0742-24-5004

アドレス：<http://www.pref.nara.jp/>

- ・ 様々な形の葉があることに気づかせることができます。秋であれば色の違いも楽しいです。
- ・ 自分の採集した葉をラミネート加工名札にすることは、そのできあがりの良さと葉に対する思い入れから子どもたちの興味を引きます。

## 1

## プログラム名 葉っぱの名札

目的：葉を採集し、いろいろな形、手触り、大きさの葉があることを知る。

実施時期：春～秋

所要時間：葉の採集…1時間、パウチ…30分

フィールド：落葉広葉樹がある森林、教室など

対象学年：小学校低～高学年 人数：約20名

スタッフ：指導者2名

## 準備

◎フィールド

[葉の採集]

パウチに適した葉は薄い方がよいので、落葉広葉樹がたくさんある森林。

◎準備物

[葉の採集]

葉を入れるビニール袋、採集した葉を押すための新聞、おもり、図鑑

[パウチ]

パウチフィルム、ラミネーター、名札の金具、ハサミ

## 当日

[葉の採集]

◎タイムテーブル(1時間)

0:00	オリエンテーション
0:05	葉の採集
0:30	採った葉を押し葉にする
1:00	終了

◎方法

- ①採ってきた葉を新聞にはさみ、上におもりをのせておく。
- ②時々新聞を変えた方が変色しない(特に、最初の数日は変えたほうがよい)。約1週間押すと変色しにくい。
- ③葉の樹種を事前に調べておくとよい。



押し葉

[葉のパウチ]

◎タイムテーブル(30分)

0:00	オリエンテーション
0:05	自分が気に入った葉をラミネートする
0:30	終了

◎方法

- ・パウチフィルムに葉を挟んで、ラミネーターにかける。
- ・葉の形にハサミで切って、裏に名札の金具をつけ、前に名前を書くと名札になる。
- ・大きなパウチシートに様々な葉を挟んで模様を作ってもよい。



葉をフィルムにはさむ



ラミネートする

※ポイント

葉をきちんと乾燥させておくと、きれいにラミネートできる。



# こころがポイント

## ポイント1

- ・葉の形や葉脈、葉の色などもよく観察させたり、葉の種類（樹種ごとの特徴など）にも目を向けさせたりすることも大切です。

## ポイント2

- ・名札だけでなく、大きめのラミネートに葉をはさみ葉のアートを楽しむこともできます。  
なお、厚くなるとパウチができないので、葉と葉の重なりのに厚みに注意が必要です。

## 学習指導要領(内容)における位置づけ

### 生活

- (6) 身近な自然を利用したり、身近にある物を使ったりなどして、遊びや遊ばしに使う物を工夫してつくり、その面白さや自然の不思議さに気づき、みんなで遊びを楽しむことができるようにする。

### 図工

#### 第1学年及び第2学年

##### A表現

- (1) 材料を基に造形遊びをする活動を通して、次の事項を指導する。

ア～ウ 省略

### 理科

#### 第3学年

##### B生命・地球

- (2) 身近な自然の観察  
身の回りの生物の様子を調べ、生物とその周辺の環境との関係についての考えをもつことができるようにする。

#### 第4学年

##### B生命・地球

- (2) 季節と生物  
身近な動物や植物を探したり育てたりして、季節ごとの動物の活動や植物の成長を調べ、それらの活動や成長と環境とのかわりについての考えをもつことができるようにする。



# どんぐりってなんだろう クリスマスの飾りづくり

事例元：平成20年度「瀬田学区子供育成連合会森林教室」実施報告

作成者：滋賀森林管理署

住所：〒520-2134 大津市瀬田3丁目40-18

電話番号：077-544-3871、FAX番号：077-544-3867

アドレス：<http://www.kinki.kokuyurin.go.jp/siga/>

- ・図工科の活動として取り組むとよいです。
- ・自然の素材をはりあわせ、オリジナルのクリスマス飾りができるところがすばらしいです。
- ・実施学年に応じて目標を設定すれば、全学年でも取り組めます。

## 平成20年度「瀬田学区子供育成連合会森林教室」実施報告書

### 実施日・場所

平成20年12月6日(土) 瀬田小学校

### 目的及び実施内容

瀬田学区子供育成連合会の依頼により、

①森林の役割、大切さを学ぶ

②木やどんぐり等、自然の素材を使ってクラフト作りを体験し、木の持つぬくもりや香りを実感するとともに想像力を身につける

ことを目的として、森林教室「どんぐりってなんだろう？」及び木エクラフト「クリスマスの飾りづくり」を行った。

### 参加人数

参加者	小学生136名、大人49名、幼児19名	計204名
役員	10名	
森林管理署	2名	

### 実施スケジュール

9:30	資材搬入、準備
10:00	開会 森林教室「どんぐりってなんだろう？」※プロジェクター使用
10:50	木工作開始
11:55	木工作終了
12:00	会場片付け、資材搬出

### 実施状況

別添写真のとおり

### 貸与(提供) 資材

森林教室 □プロジェクター、□パソコン、□スクリーン、□マイク、□コードリール、□パネル3枚

木工教室 □ヒノキ間伐材輪切り250枚、□どんぐり、マツボックリ、□桜、ヒノキ枝、□グルーガン、グルースティック、□延長コード3個、□コードリール2個、□紙ヤスリ、□木エボンド、□カラーペン、□はさみ、□鋸、その他工具類、□動眼、□ヒートン、□カラー紐

### 主催者側準備資材

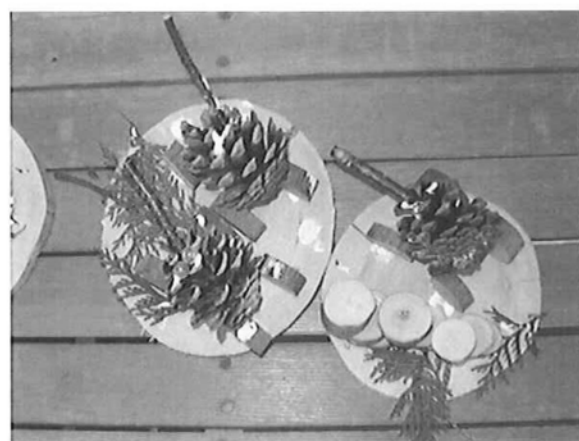
リース台、飾り(人工物)、木の実(マツボックリ、どんぐり) グルースティック、木工用ボンド、銅線、ヒートン(大)、カラー紐(長)、ブルーシート、机、長いす

## 【実施状況写真】

### ●森林教室「どんぐりってなんだろう」



### ●木工教室「クリスマスの飾りづくり」



マツボックリ戦車

スライド教材

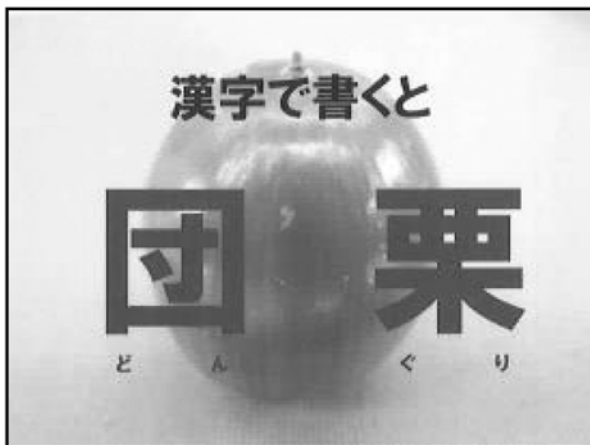
1.



2.



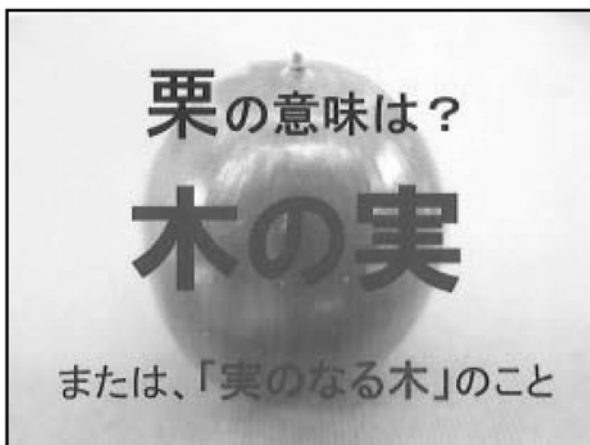
3.



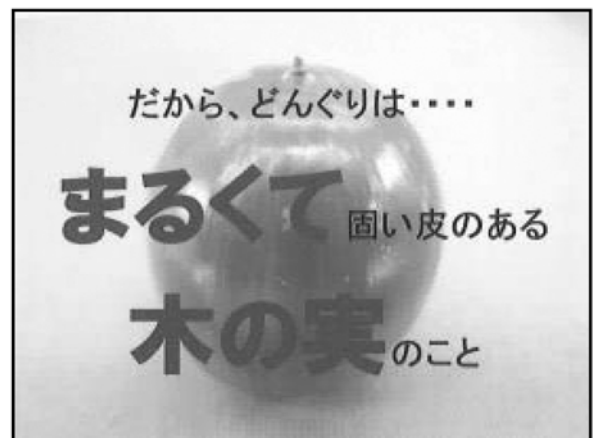
4.



5.



6.




7.

**「ドングリの木」はどんな木？**

- クヌギ、コナラ、アラカシ・・・など、固い皮をもつ木の実をつけるブナ科の樹木のことです。日本には、20種類くらいあります。
- だから、「ドングリ」という名前の木はないのです。

(写真の「クリの実」もドングリの仲間です)

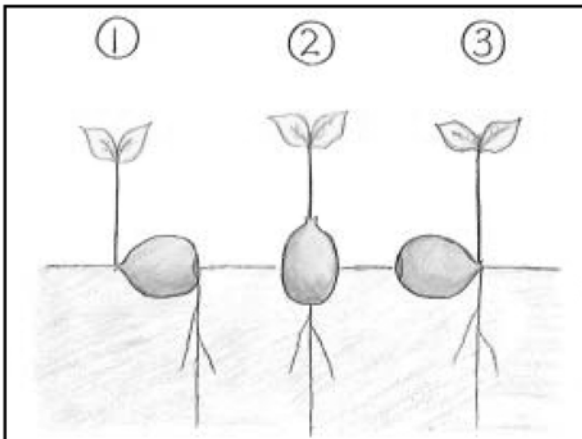


8.

**「ドングリ」の芽(め)はどこから出るのかな？**



9.






10.

正解は・・・

**③**でした！

11.

**ドングリの中身はどうなっているのかな？**

12.

**ドングリの中身**

ドングリの中身は、栄養たっぷりの「ふたば」です。

